

議会だより

2017.1.22

No. 172

山梨県昭和町議会
<http://www.town.showayamanashi.jp/>

しょうわ



母子愛育会
こんにちは
赤ちゃん訪問

特集

議会改革

よりよいまちづくりへ向け ②

一般質問 ここが聞きたい ⑥

多事争論・区長と議員の意見交換会 ①7

地域住民と議員の対話集会 井戸端会議 ①8

第5回 議員記者が行く ②4

まちづくりへ向け モニターとの意見交換会

平成28年11月24日、議会モニターと昭和町議会との意見交換会を開催し、議会モニターになって1年経っての感想や、さまざまなご意見をいただきました。

◎議会モニターとして1年経っての感想

- 議会だよりを読むことで議員の仕事ぶりを間近で感じることができた。
アンケートを通じて町民の意見として、今後も議会だよりへ反映していただきたい。
- 議会だよりなど読んだことがなかったが、細部まで見るようになった。
議会にも興味がでてきたので傍聴したいと思う。
- 同じ地区の議員には顔を合わせる機会があるが、他の地区の議員とはこうして顔を合わせることができる。井戸端会議などで他の町民にも顔を見せて意見を聞く事を続けていきたい。
- 議会だよりを詳しく読む機会ができ、各議員それぞれが活躍していることがわかる。
議会だよりについてだが、モニターの意見を掲載してくれたのはとても良いと思う。



議会モニターとの意見交換会

◎議会議員との意見交換

- 議員** 議会だよりをモニターが終わっても読んでくれるか。
- モニター** 読み続けたい。興味がもてる紙面づくりをお願いする。
- 議員** 議員に対してどんなイメージがあるか。
- モニター** 住民の代表であり、議決権を持つ人たちなので、積極的に意見を聞いていただきたい。

特集 議会改革 よりよい

山梨学院大とのワークショップ

平成28年12月2日、山梨学院大学との連携による研修の一環として、学生と議員とのワークショップを開催しました。総務・産業土木・教育厚生3常任委員会に分かれ、グループによる提案発表が行われ、活発な意見交換をしました。

総務常任委員会

学生による提案

- I 市民教育について
- II 広報について
- III 外国人が暮らしやすいまちづくり

学生の提案を受けて

中高生が政治に関わる機会創出は大切である。広報・広聴の双方が繋がり、運営していくことの大切さを改めて感じた。諸問題に対する現状把握と政策立案から解決のスピードが重要であると再認識することができた。



産業土木常任委員会

学生による提案

- I 家庭からのゴミの分別と廃棄に関する新たな提案
- II 自転車のまちづくり
～昭和町に自転車専用ネットワークは可能か～
- III 地方創生～ICTと知名度向上の観点から～

学生の提案を受けて

家庭ごみなどの分別については、違う視点での意見をもらうことにより再度考えることができた。自転車のまちづくりの提案は道路行政を進める中で自転車の活用は是非検討したい。議会運営でのペーパーレス化など新しい発想を活かしていきたい。



教育厚生常任委員会

学生による提案

- I 認知症対策について
- II 高齢者の犯罪～加害者・被害者として的高齢者～
- III 若者による「甲斐歌舞伎」の再生と地域文化政策の推進

学生の提案を受けて

認知症対策は、地域と行政が連携していくことが大切なのでそれを提案することは良い。高齢者犯罪については、コミュニケーションの場を設け、犯罪の抑止力になるというのは良い提案。甲斐歌舞伎の再生と推進については、昭和町に伝承させたいという提案は素晴らしい。



町立温水プール使用料が変わりました！

町内者が利用しやすく、さらに幼児を無料へ



町立温水プール

一般会計 全員賛成で可決

補正増額 2億2978万9千円（総額74億6759万3千円）

主な財源

固定資産税（企業等の設備投資）	7000万円
やまなし産地パワーアップ事業費補助金	640万2千円

主な使いみち

（仮称）地域福祉センター新築工事費	1074万1千円
町道34号線側溝改良等の道路改良工事費	2200万円

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険特別会計	3500万円増額（総額：22億707万円）
後期高齢者医療特別会計	94万8千円増額（総額：1億4624万8千円）
介護サービス特別会計	7万5千円減額（総額：1823万4千円）
下水道事業特別会計	1027万円増額（総額：10億3455万6千円）

12月議会で決まったこと

平成28年12月定例会は、12月6日から9日まで4日間の会期で開きました。町長提出の平成28年度一般会計および特別会計補正予算5案件のほか、条例制定および改正6案件の計11案件を審議しました。

一般質問では9人の議員が16件について活発な質問・意見を展開しました。

条例の制定

- ・農業委員会の委員の定数に関する条例制定

法律の一部改正により、選挙、議会推薦を廃止し、委員の定数を12名とするものです。

条例の改正

- ・職員給与条例の改正

人事院、県人事委員会の勧告により、職員の月例給特別給（勤勉手当）を引き上げるものです。

- ・特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の改正

人事院、県人事委員会の勧告により、特別職の職員で常勤のものとの特別給（期末手当）を0・1カ月分引き上げるものです。

- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

人事院、県人事委員会の勧告により、議会議員の特

別給（期末手当）を0・1カ月分引き上げるものです。

- ・ひとり親家庭医療費助成金の支給に関する条例の改正

山梨県の補助金交付要綱の一部改正により、条文が増えたことにより条項にずれが生じたため改正とするものです。

※全員賛成で可決

- ・使用料徴収条例の改正

昭和町温水プールの使用料について、町内外の同一料金を町外者のみ引き上げるとしました。教育厚生常任委員会委員より一部修正案が提出され、幼児の使用料は町内外すべて無料とするものです。

※全員賛成で修正可決

町立温水プール新料金表

種類	利用者	使用料		使用時間
		当日券	回数券（10枚つづり）	
温水プール	昭和町内			3時間30分
	一般（高校生以上）	300円	3,000円（12枚） （町内在勤者を含む）	
	小・中学生	100円	1,000円	
	幼児（小学生未満）	無料	無料	
	昭和町以外			
	一般（高校生以上）	500円	5,000円（11枚）	
	小・中学生	200円	2,000円	
	幼児（小学生未満）	無料	無料	

（平成29年4月1日より施行）

請願

- ・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

国庫負担率を2分の1から3分の1に引き下げられましたが、国庫負担割合を2分の1に還元。地方交付税を含む教育予算の拡充を図るためのものです。

※全員賛成で採択

- ・町議会議場に国旗の掲揚を求める請願

反対論

昭和町の役場には町旗と国旗が掲揚されており、多様な価値観を持つて議論をする議員が、議場への国旗の掲揚を推進するのではなく、庁舎の町旗・国旗、議場にある町民憲章・町旗に對して誇りを持ち、議会運営を進めていくべきであると考え、この請願へ反対する。

賛成討論

議場への国旗掲揚が委員会では否決されたが、一般の国旗掲揚に對して、多くの

議員は理解があるようなので請願の趣旨に賛同していただきたい。

※反対多数で不採択

意見書

- ・地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

政治参加や人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう要望し、両院議長、総理、関係大臣に向け、提出するものです。

- ・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

請願が採択されたため、意見書として追加議案となり、関係各位に提出するにいたしました。

※全員賛成で可決

施策を問う

ここが聞きたい

一般質問の内容はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 全国学力テスト

結果と取り組みは

A 学校ごとに

指導を進めている



いしはら たかあき
石原 高明 議員

石原

県教委が発表した学力底上げの取り組みだけでなく、各学校の結果や、地域の実情に応じた独自の取り組み等、成績上位の県の指導方法を取り入れる考えは。

県教委が発表した学力底上げの取り組み

教育長

全国学力・学習状況調査を国・

県の実施を参考に、町独自に各学校の成果と課題を分析し、教師による学力向上推進会議において、課題等の年ごとの比較や、他県の成績上位の取り組みなど多角的に検討を行い、あらゆる視点から学力向上の取り組みを行っている。

再質問

石原

具体的な各学校の課題解決策は。

教育長

課題解決に向け、知識の定着では学習した内容を振り返る時間をつくり、授業と連動した家庭学習を進めていきたい。

Q 脱ゆとり教育と道徳は

A 対応する準備を 行っている

石原

具体的な内容が示されていない学習指導要領の改訂だが、昭和教育の方向付けと、次世代の学校・地域創生プランに示す重点事項や、道徳を教科とする完全実施に向けた準備は。

教育長

学習指導要領改訂の狙いは、「生きて働く知識・技能の習得」と「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成」の2つと考えている。国や県の開催する研修会や説明会に教職員を派遣し、指導要領の方向性を学習していきたい。平成30年に小学校、31年に中学校が「特別の教科・道徳」が全面実施となるが、対応する準備を行っていきたい。

Q 子どもの貧困対策は

A 就学援助や 連携で支援

石原

社会福祉協議会やNPOなど、民間支援団体との連携や支援に、子どもの貧困対策に関する庁内対策会議やチームを設置する考えは。

町長

小学校の貧困率は9・8%であるが、連携が必要な機関と密に対応しており、生活保護や支援が必要な家庭は、就学援助という形で支援している。また、スクールソーシャルワーカーを活用し、教育や福祉関係機関だけでなく、家庭が抱える問題も、必要な支援を行う組織や団体とのつなぎ役として、フードバンク山梨をはじめNPO団体とも連携し、必要な支援をコーディネートすることができている。また、課長で組織する会議を活用し、国や県と連携を取りながら支援を行っていききたい。

Q 緑の基本計画進捗状況と地域拠点は

A 課題整理し公園整備に取り組む



よだ しげあき 議員 依田 茂巳

依田 緑の基本計画の進捗と実施内容、住民プランを今後の策定委員会にどう生かすのか。また、西条二区新公会堂建設の用地確保は。

町長 現況調査・住民アンケート調査、住民ワークショップを終え、課題整理を行っている。住民ワークショップは「まちづくり住民プラン」の提言書を受け、課題を整理し計画内容を精査している。北部地域において、公園用地活用は、周辺の公園との配置バランスも良く、市街化区域の中で面積的にまとまっている。西条二区の公会堂建設候補地でもあり、公会

堂に隣接した公園整備を緑の基本計画に位置付け、実施に向け取り組みたい。

北部地域提案図

(西条二区地内公園用地等住民プラン)



Q 生活道路・幹線道路の充実

A 地元要望受け整備進める

依田 町道2号線の拡幅計画、地権者説明のための業務委託を終えた町道124号線・364号線(西条インター線南進箇所)、以上3路線を今後どのように進めるのか、町長に考えを伺う。

町長 町は第6次総合計画・基本構想で、幹

線道路の整備・生活道路の充実を促進するとしている。町道2号線の拡幅計画は、地元要望を受け順次整備を進める。町道29号線拡幅は29年度に用地買収と工事、124・364号線は現況平面測量委託が終わり、29年度に道路線形や幅員の検討、地権者説明および現道が甲府市行政境であるため協議を進めたい。

再質問

依田 町道2号線の拡幅計画が未定だが、歩車分離を確実にし、アップダウン解消に努める考えはないか。

建設課長

拡幅計画を立て整備を進め、水路改修工事と合わせて歩道を確保していきたい。

Q 使用料と減免基準のあり方は

A 福祉推進と受益者負担のバランスが大切

依田 使用料は受益者負担が原則だが、減額や免除の基準がいまいとなっ

ている。町民全体の公平性を維持するためにも基準を明確にし、適切な運営のために基本的な方針を定める必要がある。町長の考えは。

町長

町民福祉の向上・スポーツの推進と受益者負担のバランスを、上手にとることが大切。温水プールは町外の利用者が増加し、使用料を増額する。減免基準は条例で定められており、公務での使用、文化協会、各教室・講座等から発生した自主団体、体育協会、スポーツ少年団等の育成のため無料(免除)で使用しており、現状の条例の中で運用している。

再質問

依田 減免の基本的方針を定める考えについて再度伺う。

生涯学習課長

近隣市町村も参考にする中、免除団体・減額団体・通常利用団体について、一覧表が作成できないか関係各課と協議していきたい。

Q ふれあい祭りとマラソン大会実施は

A 祭りの形骸化を防ぎ、検討していく



みない よしひさ
薬袋 義久 議員

薬袋

2015年の県内国勢調査確定値では、

65歳以上人口が23万4、500人余、全人口の28・4%。また、15歳未満の人口割合は12・4%と、過去最低で少子高齢化が急速に進んでいる。

昭和町の65歳以上高齢者は3、705人20・1%、15歳未満は2、951人16%で、昭和町も高齢化率は他町村より低い。確実に少子高齢化が進んでいる。高齢者になると医療費や介護保険費も増大し、町の財政を圧迫していると思われる。

いろいろなスポーツを含め、多くの各種団体や町民が参加できる仕組みがあり、あの手、



押原公園全体図

町長

この手で高齢者の健康維持に努めているが、それらを理解した上で、ふれあい祭りの際、昭和町ふれあいマラソン大会を実施すべきと思うが、町の考えを伺う。

マラソンを含め、さまざまなスポーツを通じ、若いころから病気にかけず、ケガを起こしにくい体をつくり、健康寿命を延伸することは大切と考えている。

ふれあい祭りは、毎年1、800人を超える関係者に支

えられ開催できており、町内外の多くの方にご来場いただいている。

ふれあい祭りでは、ふれあいマラソンを開催する場合、安協・消防団やスポーツ推進員を含むお祭り関係者をマラソンと振り分けし、例年どおりふれあい祭りが開催できるか、マラソンランナーが安全に走れるのか疑問が残る。

県内では、交通量の多い市街地を多く走るマラソン大会は行われておらず、一番の要因は交通事情で、数キロメートルの道路を通行止めにした後、幹線道路の横断時に通行止めにするのは難しいと考

えている。南甲府警察署や県道管理者によると、いくつかの問題をクリアすることが必要とのこと。また、町としては都市化が進み、通過交通量が多く、幹線道路を多く抱え、交通の要所である町の交通事情を考えると、ふれあいマラソン大会を実施することは難しいと考えている。

再質問

薬袋

28年間続いているふれあい祭りを長く続

ける難しさ、緊張感を持ち続ける難しさは当然あるが、町は観光資源に乏しく、しっかりと計画を立てたマラソン大会を実施することは、町にとって重要であると思う。

また、ふれあい祭りは町のお家芸、祭りのスタンスを変えていく必要があると思うが、

生涯学習課長

過去に行われたマラソン大会等を検証し、山梨県・警察および町の体育協会・スポーツ推進委員等と協議するが、難しいと考えている。

企画財政課長

多くの町民が楽しめる一大イベントとして、その都度、課題を解決し、経費の軽減化やメインテーマを設け、会場は押原中学校校庭、総合体育館駐車場、押原公園と変更するなど、時代を反映した中で開催してきた。2年後は30回目の節目、ふるさと推進委員会で意見を聞き、検討していきたい。

Q 月の土地を購入し宇宙教育振興

A 現時点では疑問が残る



堀 門太 議員

堀

月の土地はアメリカ合衆国のブッシュ前大統領、また、ハリウッドスターなど著名人も多く所有しており、日本では歌舞伎役者の市川海老蔵さんが息子に、福原愛さんが結婚相手の男性にそれぞれプレゼントして話題となっている。

そこで、将来、本格的な宇宙時代を迎える今の子どもたちのために、今のうちから宇宙に目を向ける教育が必要と考える。昭和町でも月の土地を買わないか。

望遠鏡を覗き、昭和町が所有する月の土地を探しているうち、宇宙科学にのめり込み、ノーベル賞を受賞するような

研究者が現れることにつながるかもしれない。町を離れて暮らす若者も夜空の月を見て、故郷をしのぶこともできる。

月面の1、200坪、サッカー場約1面分の金額が3千円という、かなりの低価格で簡単に購入でき、あとの経費も一切かからず、単純計算で住民負担を換算しても1人1円にも満たず、費用対効果は抜群と考える。

町民全体の宇宙教育の振興に寄与し、ほかにも幾多の可能性を秘めた、この「月の土地」。現在、第3期分譲中で、直ちに購入すべきと考えるが、町の考えを聞きたい。

教育長

荏岐市の大村先生がノーベル賞

を受賞されたことは、県民として大変な誇りで、昭和町からもノーベル賞を取るような研究者が育ってほしいと願っており、月や星などの天体に興味を持ち、宇宙の神秘に目を向けるような教育を行うことも大切と考えている。

月の土地の購入は、アメリカの会社が1967年に発効した「宇宙条約」の第2条に、



宇宙時代に乗り遅れるな

「天体を含む宇宙空間は、いずれの国家も領有権を主張できない」という一文があり、そのことを利用し、個人や法人ならばできるとの判断をもとにして、土地を販売している。現実問題として、町の税金を使い購入することの意義があるかは疑問があり、月の土地を購入することは、今の時点では考えていない。

一時、教育界では「理数離れ」が問題になり、実生活の中で、数学や理科の知識は生活や社会で使うことは少なく

役に立たないとか、学年が上がるにつれて、数学や理科が嫌いになると感じる小中学生が増え、国も学習指導要領の改定などを通して改善を図るよう、良い傾向が見られるようになってきている。

自然に興味を持ち、月のロマンを感じることで子どもを育てる教育を行うように、教育委員会としても全力で取り組みたいと考えている。

再質問

堀

月の土地の権利は現状では不安定かもしれないが、購入すれば町に与える利益は大きく、全国的なニュースになったり、費用対効果は抜群と考える。将来的に後悔しないため、再度考えを伺う。

教育長

月の土地の権利の数を調べると、全世界で150万人、日本では約15万人が買っている。ロマンには大変同調するが、会社の実態を考えた場合、買うことの責任には疑問が残る、先の保証がないと考えている。

Q 路面下空洞調査と対策は

A 国の動向注視し調査連携



かわだ 河田あけみ 議員

河田 地下の空洞化による道路の陥没は、全国で年間約5千件ある。空洞調査の技術は大きく進歩し、車両搭載のマイクロ波による調査は道路を封鎖せず、走行しながら調査する方法もあり、精度の確立も高い。町では路面化の空洞化調査をしているのか、今後の対策は。

町長 町の道路下には、電気・ガス・上下水道・通信回線等、重要なライフラインが埋設されており、路面下の空洞状況の把握は必要と認識している。福岡県の陥没事故を受け、各市町村に路面下空洞調査の実施状況把握を始めたばかりで、調査の

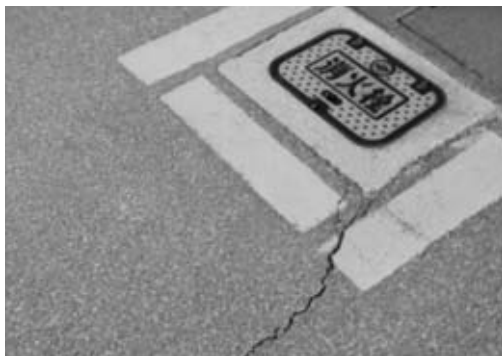
義務付けや国庫補助対象も考えられ、国の動向を注視し、近隣市町村と調査連携をする中で、路面下空洞調査の検討をしていきたい。

再質問

河田 調査はいつごろから始めるのか、町内の陥没の原因は分かっているのか伺う。

建設課長

29年度から近隣市町村や県と路面空洞調査連携の協議を始めた。小規模な陥没原因は不明だが、長年の間に路盤材等の圧密沈下などが生じたものと思われる。



町内道路のひび割れ

Q 養護教諭・カウンセラーの活用は

A 情報交換し財政当局と協議を重ねる

河田 最近、町内の小中学校で不登校の子どもたちが増えている声を耳にする。子どもたちの「心」のケアを充実させるため、小学校へ養護教諭の増員やカウンセラーを配置し、活用する考えはないか。

教育長

スクールソーシャルワーカーは各教育事務所に配属されており、町内学校での利用は今年度4件の活用実績がある。町独自で「青少年カウンセラー」を設置し、小学校でもスクールカウンセラーの相談回数が増加している。

現在、中学校のスクールカウンセラーにお願いし相談したり、教育事務所の要請訪問のスクールカウンセラーを活用したりしている。各学校の管理職や関係教職員と情報交換し、町独自の小学校へのスクールカウンセラーの配置や

養護教諭補助員の配置について、町長や財政当局と協議を重ねていきたい。

Q 文化活動に子ども合唱団の結成を

A 具体的な協力方法を検討したい

河田 町の子どもたちが1つになれる活動に合唱団を結成し、学校という枠を飛び越え、楽しい時間を過ごすことができる。音楽を通しての活動は、町の文化活動の活性化にもなり、多世代の交流や新しい住民との交流の場にもなる。子どもたちの合唱団結成を提案したい。

教育長

昭和町合唱団の結成は、芸術文化活動の啓発・推進の面から大切。指導が可能な町内の方が発起人となり、支援や具体的な協力方法を相談いただき、検討するようにしたい。

Q 心身障害者扶養共済加入の一部助成は A 親が安心する障害者福祉向上に努める



かわすま やすしげ
河住 保茂 議員

河住 この制度は心身障害者（児）の保護者が、生存中に毎月一定の掛金を納付し、保護者が死亡、または身体に著しい障害を有することになった時、障害者に終身一定額の年金を支給する任意の保険制度で、障害者の生活の安定と福祉の増進に資し、将来に対し保護者の抱く不安の軽減を図ることを目的に創設された。しかし、平成20年に見直され掛け金が大幅にアップした。町は障害者福祉計画策定協議会の意見を聞き、一部補助を検討するとしているが、進捗状況は。

町長 質問については関係者の意見を聞き検討し、町単独の補助は行わないことになったが、保護者の要望は金銭的援助より、親亡きあとの子どもが安心して暮らせるグループホームの確保など、施設整備に移行している。町は中央市・昭和町自立支援協議会の中で、親の会の代表者も委員として交えながら、親亡きあとの施策の検討も進めている。共済制度加入者一部助成は現状のままだが、今後多方面から保護者のニーズを聞き、親が安心する障害者福祉の向上に努めていきたい。

再質問

河住 町単独補助を行わない理由は何か。

福祉課長 保護者会に対して検討したが、任意保険であること、親亡きあとの施設整備などの要望が多いため、現状のままとした。

Q 要配慮者支援計画は

A 障害者施設等と
協定締結を準備

河住 要配慮者とは、災害時に自らを守るための行動に支援を要する人など

とで、福祉関係者や地域組織等が連携し、要配慮者の避難や避難所でのケア、福祉施設等への受け入れを、円滑に行うことが重要と考える。

町の福祉避難所は総合会館の和室に開設されるが、障害者・赤ちゃん・妊婦・認知症

のある方など多様な人がおり、障害に合った施設で受け入れる準備をする必要がある。町長の考えは。

町長 町では総合会館を福祉避難所と位置付け、有事の際は、支援が必要な高齢者や障害者を受け入れる計画となっている。総合会館1階の和室は主に高齢者を受け入れ、今年度、手すりや段差解消のために、取り外し可能な車いす用スロープを用意した。また、2階の軽運動室は、主に知的障害者等の受け入れ場所に予定している。

総合会館だけでなく、社会福祉施設への受け入れも必要で、町内の高齢者施設および障害者施設と協定を締結する準備を進めている。

再質問

河住 協定締結の準備状況はどうか。

福祉課長 来年度に、災害・防災担当である企画財政課と連携を図り、早い時期に協定が結べるように努めたい。



障がい者扶養共済制度パンフレット

Q ホタル発祥地に新公園整備を

A 問題解決に向け庁内検討委員会を立ち上げ



石原 一好 議員

石原

天然ホタルが自然発生しているのを、手をこまねいて途絶えさせてはならない。現在でも6月上旬から7月下旬にかけ、数匹から数十匹のホタルが毎日見られている。

しかし、現状では健康者の方ですら見学するのに足場が悪く、場所が荒廃し非常に困難で、障害者の方はもっと大変だ。せっかくホタルが自然発生しているのに、見学通路も足場が悪く、見に行けないのが現状だ。

ここは荒廃地で倒木や雑草で荒れており、地域の方々も大変苦慮している場所だけに、ホタル育成を兼ねた新しい公園をつくることで、住みよい

住環境にもなる。

具体的には、町の中央公民館裏にあるホタル育成のプレハブを新しい公園に移築し、沼公園とともに新しい公園の敷地管理を、町ですることが可能ではないかと考える。将来に向け町の発展の一環としての投資であり、未来に向けての希望の灯でもあり、財政的にも優しいことだ。

源氏ホタルの明かりを絶やすことなく、将来に伝えていくことにつながると思うが、町長の考えを聞きたい。

町長

ホタルは生き物であり、毎日、生育状況を見なければならぬ。職員が数年で異動する中、継続的に卵から幼虫、幼虫からさな

ぎ、さなぎから成虫、成虫から卵を採るというサイクルで育成していくことは、難しくなっている。そこで、昭和町源氏ホタル愛護会と、さらなる協力をしていきたいと考えている。

ホタル育成のためのプレハブ移築は、今回指摘の沼公園東側の私有地が調整区域で、移築は都市計画法に基づき、その場所にどうしても入れなければならない施設であるという理由付けが必要になる。

また、自然発生地に入が手を入れすぎると、自然発生にも影響が出る可能性もあり、さらに、用地買収、公園整備・管理、ホタルの育成をその場所でする誰がどのようにしていくのか、多くの課題が残



昭和町のシンボル「源氏ホタル」

再質問

石原

隣接地には沼公園があり、そこは整備ができて、川を挟んだ東側ができないとは考えられない。昨年3月の議会で担当課長の答弁では関係各課と協議をするとのことでしたが、近隣住民は整備に関し大きな期待を寄せています。各課との協議はどのように進んでいるか。

生涯学習課長

自然発生している場所に手を入れ過ぎると、影響が出る恐れがあると考え

る。庁内検討会を立ち上げ、それぞれの分野別に問題点を洗い出し、整理する中で解決に向け検討していきたい。

Q 常永ゆめ広場の管理運営は

A 管理体制を整え早期に実施する



塚原 将司 議員

塚原

常永ゆめ広場は町工
事として、28年9月

に供用開始され、植栽管理費
や光熱水費が予算化されてい
るが、管理人の人員費が予算
化されていない。常永公園の
管理人の業務を拡大し、常永
公園と常永ゆめ広場を兼務し
た管理体制にすることは考え
られないか。新たに管理人を
配置するのでなく、兼務とす
ることで管理体制が充実する
と思うが、いかがか。

運営方法は、押原公園の芝
生広場はグラウンドゴルフ等
でよく利用されているが無料
で、今後の使用が見込まれる
常永ゆめ広場も半分ずつ分け

所定の手続きを行えば貸し出
しは当面無料と聞いている。

一方、釜無公園グラウンド
の使用は、理由があると思う
が有料で、矛盾を感じる人も
いる。釜無公園グラウンドも
無料とし、統一した使用料と
すべきと考えるが、町の考え
は。

また、常永ゆめ広場の管理
に関して行政では「地域の皆
さまに親しんでいただき、愛
される公園として美化運動等
を通して育てていきたい」と
考えているようだが、管理人
を兼務で配置することで美化
運動の一環とし、地域や近隣
住民の方々も自主的にサポー
トしようという気持ちになる
ことを期待している。町の考
えを聞きたい。

町長

町内54カ所ある公園
のうち、押原公園と

国母公園を除いた52カ所は町
の職員で管理を行っている。
釜無工業団地公園と常永公園
は管理人を配置し、その他の
公園は1カ月に1回の割合で
2カ所の公園管理人である職
員と、都市整備課の公園担当
職員が分担して公園内の点検



常永ゆめ広場

を行い、利用人数の多い西条
彩の広場は、1週間に2回、
修繕箇所があれば、その都度
対応している。

常永ゆめ広場の管理内容は、
植栽管理をビオトープ周辺と
芝生広場周辺に分け、造園業
者2社に樹木や芝生等を年間
管理で業務委託し、トイレ清
掃はシルバー人材センターに
週2回業務委託、水田は「す
つきり昭和」に栽培および管
理をお願いしている。職員は
他の公園と同様、1カ月に1

回の点検と自転車練習コース
のある畑の管理を行っている。

常永公園と常永ゆめ広場の
兼務は、利用者が増えると1
カ月1回の日常管理では足り
ないので、常永公園の管理人
を中心に、彩の広場と同様に
週2回の管理を行いたいと考
えており、公園管理担当職員
も含め、管理体制を整え早期
に実施したい。

町では一般的な公園は料金
を徴収していないが、釜無公
園グラウンドはスポーツ公園
施設ととらえ使用料を徴収し
ている。常永ゆめ広場や押原
公園の多目的広場については
一般的な公園と同様に考えて
いる。

再質問

塚原

利用者が増えたり、
状況等が変化した場
合、週2回行う管理の回数を
増やすことは考えているのか。

都市整備課長

状況等
が変化
した場合、回数を増やすこと
を考えている。

Q 超高齢社会の課題と対策は

A 地域包括ケアシステムが急務



たなか ひろよし 田中 博愛 議員

田中

健康で長生きする秘訣は「自分に合った仕事をすること」、「自分に合った社会に溶け込むこと」、

「適時の労力と自由」、「物事に積極的に取り組むこと」で、100歳時代が到来するといわれており、高齢社会を築いていくには、政府（行政）と企業が連携して支え合うことが必要といわれる。

県が発表した2015年の国勢調査によると、高齢者人口は65歳以上が調査開始以来最高を更新し、28・4%。昭和町では人口当たり3、705人で20・1%となっている。町では現在、福祉課を中心に健康管理にあらゆる方策を立てて対応しており、健

康体操やスポーツ、文芸等、地域のいきがいクラブ等を通じて交流している。

全国的に少子高齢化といわれているが、本町は人口増加率が全国の調査結果で9位、10・5%と非常に高い水準にある。

甲府盆地の中心で山もなく、日照時間も長く、災害も少なく、自然環境に恵まれ、交通の利便性も良いことから、若者が住みたくなる環境評価である。

そこで、質問の先を見越した今後の超高齢社会を支えていくには、行政としてどのように対策を示していくのか、町長に聞きたい。

町長

町が各種計画等を策定する際に参考としている、住民基本台帳による高齢化率も、今まで17%台だった数値が今年度18%を超え、本町でも高齢化率が上昇している。

町は第6次総合計画に基づき、「健やかな暮らしを支える保健・医療の充実」として、介護予防の推進や認知症対策、後期高齢者健診や医療・保

健・福祉の連携を図っており、最近では、100歳体操の普及による介護予防にも力を注ぎ、多くの町民に体験をしていただいている。

総合会館の温泉や、いきがいバス旅行、いきがい大学での講演なども多くの高齢者にご利用いただき、心を癒やしたり、仲間同士の親睦を深める良い機会になっている。これらを実現させるための土台ともいえる「地域包括ケアシステム」によるまちづくりが急務といえる。



100歳体操の様子

町の資源や利点を生かし、町民主体の地域力で、高齢者だけでなく、障害を持った方や子育て中の方も、誰もが安心して暮らせる町にしていこう。そのためのシステムをつくることが重要だと考えている。

今後も超高齢社会を見据え、高齢者の健康寿命の延伸と、いきがいづくりを推進しながら各種施策を進め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めていきたい。

再質問

田中

高齢社会を築いていくには、行政と企業が連携して支え合うといわれているが、具体的な方策があったら説明を願いたい。

福祉課長

超高齢社会を迎え、介護予防や健康寿命の延伸が重要と考えている。高齢者が生き生きと、生きがいを持って暮らせるまちづくりが必要で、そんな事業を大事にしながら、総合計画等にとり、事業執行していきたい。

総務常任委員会

上河東地内の身延線踏切 国母駅の通路について

塚原議員 身延線の遮断機が長時間にわたり下りていて不便を感じる。沿線活性化委員会において、JR東海に電車が通過する時のみ遮断機が下りるよう改善できるか、また国母駅の南側に駅に入る通路ができるか要望を出してほしい。

企画財政課長 身延線沿線活性化委員会でJR東海への要望として、常永駅の待合施設の増設、屋根のない部分のホーム、また、遮断機に関係して、常永駅の駅員の配置、国母駅に関しては、甲府市・昭和町との南北歩道橋の設置などの要望をしていく。

地域包括センター と人事交流は

石原(高)議員 地域包括センターの体制は事務職も含んでいるのか。また、

甲府市との人事交流はどうか。

総務課長 センターの職員体制は現在3名で行っているが、来年度は4名体制になる。内容はセンター長1名・保健師1名・社会福祉士1名・事務職として臨時職員1名である。

甲府市との人事交流については、28年度も引き続きお願いしたが、職員不足のためできなかった経緯がある。29年度に向けて打ち合わせ中であり、町としては危機管理関係の職員の派遣を希望している。

鎌田川の水辺は

依田議員 鎌田川の水辺公園に、中巨摩3町インフラネット事業で防災監視カメラが設置してあるが、その監視カメラはどこの状況をチェックするのどの課か。

企画財政課長 各町に1

カ所ずつ設置しており、本町では鎌田川、旧田富町は東花輪駅付近、旧玉穂町は分らないが、テレビのモニターは企画財政課のパソコンで監視できるようにになっている。



上河東区内踏切

地方分権対策特別委員会

ふるさと納税の 現状は

河住議員 寄付人数702人中、昭和町出身者は4人と少ないが、**総務課長** 自分の出身地を応援しようと始めたふるさと納税だが、現状返礼品目当てになっている。昭和町として出身者の寄付が増えるようにPRなど努めていく。

社会福祉協議会の 取り組みは

河住議員 社協組織の変更は検討しているのか。

副町長 会長職の変更や、法改正に伴い理事や評議員の任期・人数を町として提案し、社協に独立性を担保する中で考えている。
金丸議員 理事の債務に対し賠償責任保険への加入を考えているか。
副町長 加入を前提に

社協において検討する。

報告

地区担当職員について

総務課長 5年を経過し、区長会や庁内会議でアンケート調査を行い、制度の見直しが必要とのことから、29年3月をもって休止する。



昭和町の返礼品のひとつ

教育厚生常任委員会

保育園の補助金は

河住議員 保育対策総合支援は、すでに実施している園が、遡って補助金を受けられないのか。
福祉課長 すでに整備済みの園は補助金の対象外であり、実施済みの園も承知している。

高齢化に対する対策は

林議員 高齢化率の数値が町の調べでは約18%、国勢調査で20・1%と違っているが、どのような理由か。



町内保育園

町民窓口課長 昭和町に住民票を置いていますが、実際には別の所に住んでいる等で、住民基本台帳と実態とで差が出る。

中澤議員 コミュニティバスを町内にきめ細かく走らせてほしい。

副町長 超高齢化の際には本格的に導入する予定だが、昭和町は現段階で時期尚早と考えている。

温水プールの使用は

金丸議員 使用料改正の中で、町内・外で差をつけ、町の経費を削減するのは良いことだが、障がい者に対する料金の配慮はどうなっているか。

生涯学習課長 障がい者の方々については、付き添いの方を無料としている。

河田議員 幼児の使用料を無料にするべきではないか。委員として修正案を委員長へ提出する。
石原(高)議員 修正案について再度、委員会を開催し審査する。

産業土木常任委員会

専業農家子弟の就農支援は

依田議員 昭和町も農業後継者が少なくなる中で、現在、農業者の子弟で補助金申請できる方は何件あり、要望はあるのか。

環境経済課長 専業農家は10件くらい。経営規模拡大により、3年以内に5反歩以上借りるのが条件であるが、借りて農地を広げて事業拡大をする方はほとんどいない。



専業農家

水路の改修は

石原(高)議員 沼前踏切から神明踏切までの側道については、測量が終了したが、沼前踏切の前の水路の改修は。

副町長 身延線側道の拡幅については、紙漣阿原区からも要望がでており、水路の改修等を含め、計画を進めている。

耐震診断の業務委託は

葉袋議員 木造住宅耐震診断業務委託は、当初10件と報告され、ローラー作戦により、12件となった。今後、西条一区・上河東区以外の区に訪問する予定はあるのか。

都市整備課長 ローラー作戦は、毎年2地区ずつ進めている。耐震関係の補助金制度が平成32年度で廃止になるので、来年度以降もできる限り進めていく。

多事争論

平成28年11月11日（金）、住民の先頭に立って活躍されている区長と意見交換会を開催しました。区長の皆さまからいただいたご意見をしっかり受け止め、議会活動に反映させていきたいと思っています。（一部のみ掲載）

第10回 区長と議員の意見交換会

参加者

（敬称略）

西条一区 曾根孝順
西条二区 込山正一〔副会長〕
清水新居 太田 學
西条新田 阿井美代子
押 越 海野 讓
河東中島 山本 哲〔会長〕

紙漉阿原 武井啓吉
築地新居 磯部光美
飯 喰 高野清治
河 西 山 畠 実〔副会長〕
上河東 向山 晃
上河東二区 河西 芳彦

〈以上12区長・ほか町議会議員〉

テーマ1 予算審議について

区長会 予算編成などが議会に上程された時に、議会としてどのような対応をしているのか。

議会 3月議会で当局提案の予算について審議し、議決している。今後、予算審議前に来年度の編成方針を当局へ聞く場を設け、質疑応答することも考えていきたい。

テーマ2 農業委員会の制度改正について

区長会 農業委員会の制度が変わったが、もっと大胆な変革をしてもよいのではないかと。農業委員会制度自体を見直すとか。

議会 全国的に見れば農業委員会は農地面積が基準以下でも設置されているところもあり、業務を把握した上で必要なものであると認識している。

テーマ3 区長会長の役割について

区長会 区長会長は行政の会合に出席していることが多いが、報酬という面で見ると他の区長と同じ報酬であり負担が大きくなっている。報酬の見直しをお願いしたい。

議会 条例の改正が必要になるので、当局と協議させていただきたい。

追跡



あの一般質問はどうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



地域包括ケアシステム構築は

平成26年3月議会 質問者：田中 博愛議員
平成26年9月議会 質問者：深澤 克男議員
平成27年12月議会 質問者：石原 高明議員

問 高齢化が進む中、介護者の負担が大きくなり、介護支援専門員の役割が高くなる一方、地域包括ケアシステム構築に向けて体制強化をどうはかるのか。

答 組織体制を見直す中で主任ケアマネージャーと社会福祉士を専任とし、事務職員の増員について検討する。

その後

平成29年4月から事務職も含め、4人体制で地域包括ケアシステムの構築に向けて、運営していく。



井戸端会議

地域住民と議員の対話集会

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

飯喰区(第4回)

9月28日 飯喰区公会堂

●出席者 区民17人
●参加議員 総務常任委員会

林 和仁 依田茂巳
田中博愛 塚原将司
鷹野一雄
三井 猛議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 特殊な災害発生時の住民の安否確認方法はどうなっているか。

A 各地区に自主防災組織があり、消防・警察と同様に災害時要支援者名簿を配布してある。自助・共助の観点から、組内で向こう三軒両隣のつながりで、確認システムを充実させてもらいたい。

Q 区のごみステーションについて住居数が増え、現状では対応しきれっていない状況。区でも増設等解決策を検討中だが、町や議会でも検討してほしい。

A ごみステーションの増設等は、区で候補地を検討してもらったなど、ある程度の方



ごみステーションの
拡大・増設したい!

性を固めていただければ議会でも協力できる。当局には拡大・増設について要望する。
(当局)

公共用地の空いている場所や、既設のごみステーションの設置内容を変更して対応する等、町でも区からの相談に応じていく。

上河東区(第5回)

10月19日 上河東区公会堂

●出席者 区民26人
●参加議員 産業土木常任委員会

中澤康夫 葉袋義久
遠藤辰男 樋口敏夫
堀 門太
三井 猛議長
塚原将司

おもな意見・要望と議会の対応

Q 常永児童館が増築されているが、今後児童は何人ぐらい受け入れるのか。

A 6年生まで定員69名から120名に拡大し、最大160名程度まで可能。

Q ゆめ広場に滑り台や鉄棒などを設置してほしい。

A 遊具については町へ要望する。ただ、町内にはたくさん遊具が各公園にあり、危険なものもあるので、その状況も踏まえた上で要望する。
(当局)

A 常永ゆめ広場は災害時に、自衛隊に派遣要請した時のキャンプ地として使用し、その後、仮設住宅の建設地としての機能を確保すること



常永児童館の
受け入れ体制は!

になつてゐる。以上の理由から建築物や遊具等の設置は現段階において考えていない。
Q 災害時に公会堂、ならびに他の避難場所へスムーズに避難できるための大きな看板を整えてもらいたい。
A 避難場所の看板の件は、一昨年議会で全区を総点検したが、その時古いものは撤去し新しいものにした。もう一度確認する。
(当局)

A 各避難場所には、指定避難場所と地域にある一時集合場所の看板を昨年度設置した。指定避難場所の地図は、町のホームページ・防災マップに掲載されている。今後、公会堂が表示されている避難場所マップを、町ホームページに掲載し周知を図りたい。

上河東二区(第6回)

10月21日 上河東二区集会所

●出席者 区民19人

●参加議員 教育厚生常任委員会

石原高明 金丸富一

河田あけみ 河住保茂

石原一好

三井 猛議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 山梨県の防災マップは、盆地における釜無川の氾濫による水害の水位1m、地震による震度6が基準となっている。防災備蓄倉庫の2階建てが必要では。

A 防災備蓄倉庫を2階建てにするのは財政上困難であるため、棚の上に非常食等を置き、下に濡れても差し支えないものを置くなどして浸水に備えている。ちなみに、災害時は役場が対策本部になるため、庁舎内および自家発電機に浸水しないよう対策を講じており、釜無川船山橋観測所の水位が避難判断水位2mに達したときは、職員により対策本部のある役場庁舎2階へ必要な物資を移動する。

Q 政務活動費について、昭和町の取り組みは。

A 昭和町の政務活動費は6万円/年(5千円/月)だが、事前に議長の許可を得たうえで、議員が二時立て替え、活動後領収書を添付した報告書を提出し、精算している。

Q 昭和町は山梨学院大学と連携しているが、その内容は。

A 議会の予算で年8〜10回程度、山梨学院大学の教授の講義や、さらに山梨学院大学において学生とのワークショップを年1回、実施している。



防災備蓄倉庫の改修は?

清水新居区(第7回)

10月29日 清水新居区公民館

●出席者 区民26人

●参加議員 産業土木常任委員会

中澤康夫 葉袋義久

遠藤辰男 樋口敏夫

堀 門太

三井 猛議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 甲府市と区の境にスーパーがあるが、その裏に川が流れている、誰でもマチが簡単に開閉できる。どこで管理していて、現在使っているのか、また、必要性があるのか。

A 昔、田んぼがあつた時に使用されていたが、現在は使っていない様子である。確認し連絡する。

(当局)

A マチ(堰せき)の管理は昭和町がしており、誰でも自由に開閉ができることについては、近日中に鍵を取り付け対応する。マチ自体は現在使用している様子がなく、必要性がなければ今後撤去も検討する。

Q ふれあい祭りと、昭和町45周年の表彰式などの記念式典を、一緒に押原公園ですれば良いのでは、そうすれば表彰される側も大勢の町



マチ(堰)の管理を 厳密に!

民がいれば気持ちが良いのでは。

A ふれあい祭りと式典を一緒に執り行うのは、いろいろな状況から難しいと考えている。しかし、今後検討していきたい。

県外視察研修

総務常任委員会

日 時 平成28年10月17日～18日

目 的 出所後の無職者への地方自治体の就労支援について
都市型水害・暴風雨について

研修地 千葉刑務所

刑務所内でさまざまな「指導」という形で、出所後の就労や社会生活に必要な事項を、受刑者に教育をしているとのことだった。こうした実情を見た中で、刑務所だけでなく、地方自治体としても出所後の無職者に対して、一定の支援が必要なのではないかと感じ、今後検討していきたいと考えた。

研修地 本所防災会館

さまざまな災害に対する体験ができる施設であり、地震・津波の対応、消火訓練、地震時の行動力を身につけるための体験、暴風雨の体験、都市型水害の際に起こる二次災害への対応など、シミュレーションも含め、いつ起こるかわからない災害に備え、町をみんなで守り、備えと対策を常にとっておくことが大切であると感じた。



1日目：千葉刑務所



2日目：本所防災会館

産業土木常任委員会

日 時 平成28年11月17～18日

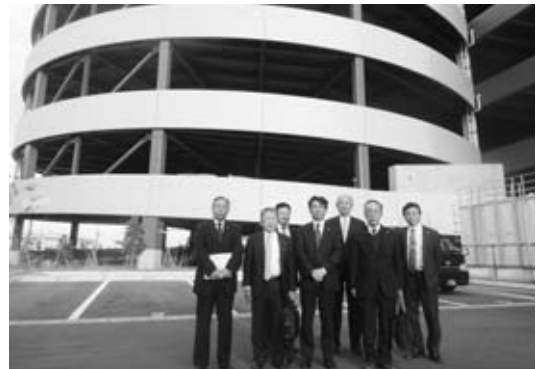
目 的 企業の土地開発事業について
液状化現象発生についての現状と対策について

研修地 大和ハウス工業

昭和町に残された土地、農地の有効活用については、遊休化、高齢化が徐々に進む中で、農地を守ることと併せて、後継者が不足する現状を打開していく必要が迫られている。企業参入を一つの方法として検討していく必要があると考える。大和ハウス工業がすすめるDプロジェクトは昭和町にとって大きすぎるものであるかもしれないが、今後リニア開通、中部横断自動車道開通等を踏まえて、その有効性を土地の活用、雇用の創造から考え、積極的に検討を重ねるべき課題であると感じた。

研修地 千葉県浦安市役所

昭和町がこれまでにしてきた対応、これからの準備、防災訓練のあり方、施設整備、情報発信のあり方など見るべきものは多くあった。町の予算編成についても何を急ぎ、なにを長期的に考えるのか、県・近隣市町村との連携で、改善の余地があるのか慎重に検討していく必要がある。



1日目：大和ハウス工業



2日目：千葉県浦安市役所

常任・特別委員会

教育厚生常任委員会

日 時 平成28年10月17～18日

目 的 地域包括ケアシステム構築の取り組み

研修地 三重県四日市市役所、地域包括ケアシステム事務所

社会福祉法人と地域組織の協働による、日常生活支援体制の構築、法人独自のプロジェクト事業の実施から孤立防止協定の設置、生活支援サポート養成講座の実施や、それに対する地域包括ケアセンター、在宅介護支援センターからの支援がシステム構築に必要。

今年度の地域包括支援センター活動計画の主な取り組みについて、在宅介護支援センターと連携し、総合相談支援事業を実施、地域の諸団体、介護事業所、医療機関等とのネットワークの構築、認知症高齢者に対する地域支援の推進など。

今回の視察研修は、平成30年4月からの新総合事業に向け、地域に即した要支援サービスをはじめとする地域包括ケアシステムの構築に当たり、システム構築の先駆けでもある四日市市を訪れ、事例など説明や助言をいただいた。「地域を知る」、「地域に知ってもらう」など、地域住民の要望を把握することが重要であり、これからのシステム構築に向け大変参考になった。



1日目：三重県四日市市役所



2日目：地域包括ケアシステム事務所

広報編集特別委員会

日 時 平成28年10月24～25日

目 的 議会広報編集全般について
町村議会広報研修会参加

研修地 千葉県多古町役場

多古町の議会広報編集については、委員6名のうち4名で小委員会をつくり、掲載内容、企画記事等の検討、ページの割り付け、入稿する原稿・掲載写真の確認、再校を行い、全委員で初校の確認を行い、業者および事務局がサポートする。編集方針も含め説明を受けた。

多古町では議会改革に取り組むとともに、議会だよりも内容を刷新し、平成27年度、全国編集デザイン賞部門で特別奨励賞を受賞。その後も町民に親しまれる広報編集に努めており、当町に参考になる部分を積極的に取り入れ、より町民に親しまれる広報作りに向け、有意義な行政視察であった。

研修地 東京都千代田区砂防会館

「分かりやすく、伝わる広報紙の表記」、「読まれて、伝わる議会広報紙ドラッカーに学ぶ」の講義を受講、議会広報はいかに住民に読んでもらえるかを常に考え編集することが大切であり、今後の議会だよりの編集に生かし、住民に分かりやすく、読まれる広報を目指す。



1日目：千葉県多古町役場



2日目：町村議会広報研修会

議員研修報告

山梨学院大学との提携事業（年10回開催）

- 10/7 金 **テーマⅢ** 地域資源・公共交通を生かした地域振興【第1回】 今井教授
11/4 金 **テーマⅢ** 地域資源・公共交通を生かした地域振興【第2回】 〃
12/15 木 **テーマⅢ** 地域資源・公共交通を生かした地域振興【第3回】 中井教授
11/22 火 **テーマⅣ** 地域包括ケアシステムの構築と自治体の対応【第1回】 竹端教授



地域振興について学ぶ！



地域包括ケアシステムについて学ぶ！

《10月～12月》第7回～第10回まで開催

ようこそ、昭和町へ！

議会視察受入
9月～11月までの間

群馬県明和町議会 9月28日（水）

- 議会だよりの編集、発行について他

静岡県御殿場市議会 10月12日（水）

- 議会広報の編集について他

富山県上市町議会 10月26日（水）

- 議会広報の編集について他

宮城県蔵王町議会 10月26日（水）

- 議会広報全般について他

群馬県甘楽町議会 11月7日（月）

- 議会だよりの作成・編集ポイントについて他
- 人口増加施策等の概要について他

山梨県身延町議会 11月14日（月）

- 議会広報の編集方法について他

長崎県町村議会議長会 11月29日（火）

- 大学との連携協定について
- 議会活性化の取り組みについて



視察研修風景



議場にて

まちづくり計画の策定に向けて！

都市計画マスタープラン、緑の基本計画策定のため 「町議会議員の意見を聞く会」が開催されました！

日 時

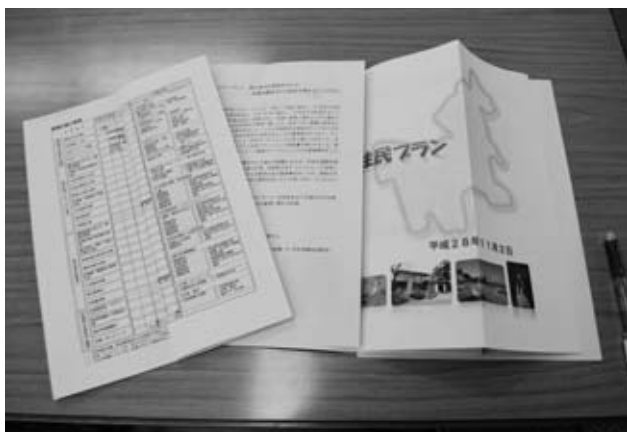
平成29年1月11日（水）午後3時40分～

目 的

昭和町都市計画マスタープラン、緑の基本計画は関連がある為、二つ同時に策定しようと見直し等を進めている中、住民意見の反映のため、住民ワークショップに当局は取り組み、「まちづくり住民プラン」という提言書を作成するにいたしました。計画の素案作りのために課題の整理を行っています。そこで住民の代表である町議会議員全員に、重要なこの二つの計画について、意見を伺う場を設けました。

議員意見

- リニア中央新幹線開通に伴う開発について、企業誘致等、積極的にやっていただきたい。
- 昭和町の耕作放棄地に関して計画策定に伴い、活用方法なども考えてほしい。
- 市街化調整区域内の開発について都市計画法第34条11号による開発可能範囲の拡大を要望する。



議員定数に関する意見聴取

町議会議員の定数について町民の皆さまのご意見を募集します

長年、議員の定数について地方分権対策特別委員会で議論してきましたが、平成28年12月2日、各団体の代表者や議会モニターなどによって構成される昭和町議員定数検討委員会を発足しました。今回、更に町民の皆様の御意見をいただきたく、下記の期間にて募集いたします。（手紙・はがき可）

募集期間

平成29年1月30日から平成29年2月17日まで

宛 先

〒409-3880 昭和町押越542-2 昭和町役場議会事務局あて

F A X

055-275-0370

メー ル

gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

第5回 議員記者が行く

議員記者が行く!のテーマは「町を守る」。町内で活躍する皆さまにスポットを当て、活動の姿を追っていきます。今回は母子愛育会のみなさん取材しました。

Q 母子愛育会とはどんな組織ですか？

A 地域に住む赤ちゃんから高齢者まですべての方々の健康づくりを応援し、安心して暮らせるような地域づくりを目指している、住民自身による住民のための活動を行っている組織です。



Q 主な活動は？

A 声かけ・見守り・話し合い を3本柱に活動しています。

- 生後4カ月までの赤ちゃん訪問（こんにちは赤ちゃん訪問）
お母さんと赤ちゃんの地区デビューのお手伝いをしています。

- 子宮頸がん検診の受診のおすすめと申込み取りまとめ
班員の声かけが受診のきっかけになっています。

- 班員会議での学び

毎月の正副班長会議や各地区班員会議で、今、地域や家庭で気になる健康課題などについて、話し合い・情報共有し、また地域の声かけにつなげていきます。各地区の健康づくり教室を開催しています。



Q これからの母子愛育会活動と課題は？

A 母子=母子だけではなく、高齢者への声かけも積極的に行っています。愛育だより7月号「熱中症」、11月号「ヒートショック」など班員がプレゼントを持って声かけし、会話が弾みました。

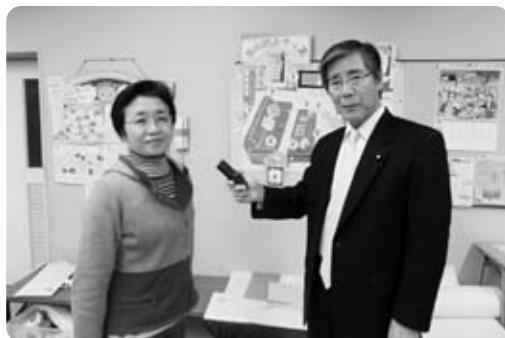
子育て世代は、組に入っていない、またはアパート住まいの方も多い現状です。専門職ではなく、身近な班員だからこそできる声かけ「子育ては、母一人ではないよ、地域でも見守っているよ」というメッセージを伝えていきたいです。

Q 活動で心がけていることは？

A 一人ひとりができることを少しずつ出し合って、班員同士も助け合って支え合い優しい気持ちで笑顔でできる活動を目指しています。気にかけてくれる人がいるということ、声をかけてくれる人がいるという幸せを感じてほしいです。

Q 会長として町の皆さんに伝えたいことは？

A 愛育班がない地区や班員がいない組があることは非常に残念です。一人では難しいことも、地域ぐるみで話し合い、取り組むことで、健康づくりはやさしく、楽しく、また豊かな人生を送ることにつながります。半世紀以上続いている昭和町の母子愛育会活動をそれぞれの時代で支えてきた先輩方に敬意と共感を持って、これからの活動を私たちの手でつないでいきましょう。



議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

ヒント 議会だより172号(この号)を読んでください

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- 1 議会モニター 委嘱されてから〇年!
- 2 温水プール料金改定 幼児の使用料〇〇!
- 3 ようこそ昭和町へ 議会視察受入
視察研修に訪れた団体の数は〇!

No.171に対する
前回のお葉書で

こんなご意見を
いただきました!



常永小学校教室の間仕切り工事計上で新築当初
から人口増の見込みがなされていなかったこと、
残念に思います。応急処置については、議員さん
だけでなく、一般町民にも講習会を開いてもらい
たいです。

(57歳・女性)

昭和町を良くする為の町会議員さん!!
住民の意見を大切にして、昭和町最高を売り
込めて、ドンドン昭和に越して来てほしいですね!!
追跡の訓練用やE口整備計画は、答えに一台
ある様子が少なくありませんか?

(70歳・女性)

171号クイズの答え

- ① 応急処置
- ② 1.13
- ③ 3

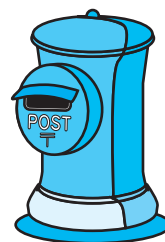
《応募方法》

①クイズの答え、②住所、③氏名(ふりがな)、④年齢、⑤議会だよりを読んだ感想を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX: 055-275-0370
- メール: gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》 2月末日 消印有効



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

町づくりは人づくりから



押越区

横森 真美さん

夫の転勤で昭和町に転入し、5年が経ちました。暮らしに便利な住環境でありながら、人と人との距離も近く、地域コミュニティが盛んである町だと感じます。2人の子ども（中1、小4）は、お祭り等の地区行事を通じて地域文化を学び、恵まれた教育環境の中で通学できることは、親として町のさまざまな支援に感謝の日々です。

いま私自身は、押原小の学校運営委員、地区の愛育、食推委員の活動をさせていただきながら、ママさんバレーやサッカーなどの生涯スポーツを楽しんでいます。子育て中に時間をやりくりするのは大変ですが、

「お母さん、気をつけて頑張ってきてね」と、家族の支えがあるからこそです。

どの場所に行っても、元気で生き生きとした地域の方の姿があり、異年齢間の交流を通じ、学ぶことの大切さを再発見しながら、改めて人とのつながりで人は支えられていると感じます。

町づくりは人づくりという町のスローガンが語り継がれるように、一人でも多くの子どもたちが地域の原動力になれるよう、保護者である私たちと一緒に、この町の未来をとものに育てていきたいと思っています。

移りゆく街並みの中で



築地新居区

中込 保徳さん

南に富士山、西に南アルプス、北には八ヶ岳に囲まれた、この築地新居に仕事の関係で引っ越してきたのが、昭和61年3月で、今から31年前になります。当時は右を見ても左を見ても果樹園と水田、そして商店は数えるほどでした。

現在は昭和バイパス、アルプス通り、環状線と、素晴らしい道路網が整備され、そして大型スーパーの出店、コンビニ、医療機関の充実と、住みよい環境の中で生活ができています。でも、この素晴らしい街になるには長い年月をかけ、しっかりと方向性を持って、地域の方々のご努力があったに違いないと思います。

懸念するのは特に少子化対策です。若い方々が就職、結婚、子育てができる昭和町に、より多くの方に住んでほしい。肝心なのは、地域にお金の流れを作れるか、「金は天下の回りもの」と言います。経済成長の負の遺産を、行政もいま以上に対応していただきたいと思っています。

近い将来に、リニア中央新幹線の開通、そしてオリンピックを2020年に迎えるようにしています。昭和町と当地区を愛してやまない私は、今後の飛躍を願うばかりです。

＊ あけましておめでとうございます ＊



大きく世界が動く中、当議会は地域にしっかりと目を向け、今年も井戸端会議をはじめ、研修会や議員防災訓練等を行い、さらなる議会のレベルアップを目指します。そして議員一丸となり、町民のため、町のために精一杯尽力してまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

議長 三井 猛 議会議員一同

● 広報編集特別委員会

委員長 石原 高明
副委員長 堀 門太
委員 林 和仁
金丸 富一

石原 一好
依田 茂巳

● 議会を傍聴しませんか

次回定例会は3月2日（木）開催予定です

議会事務局 ☎ 275-8842